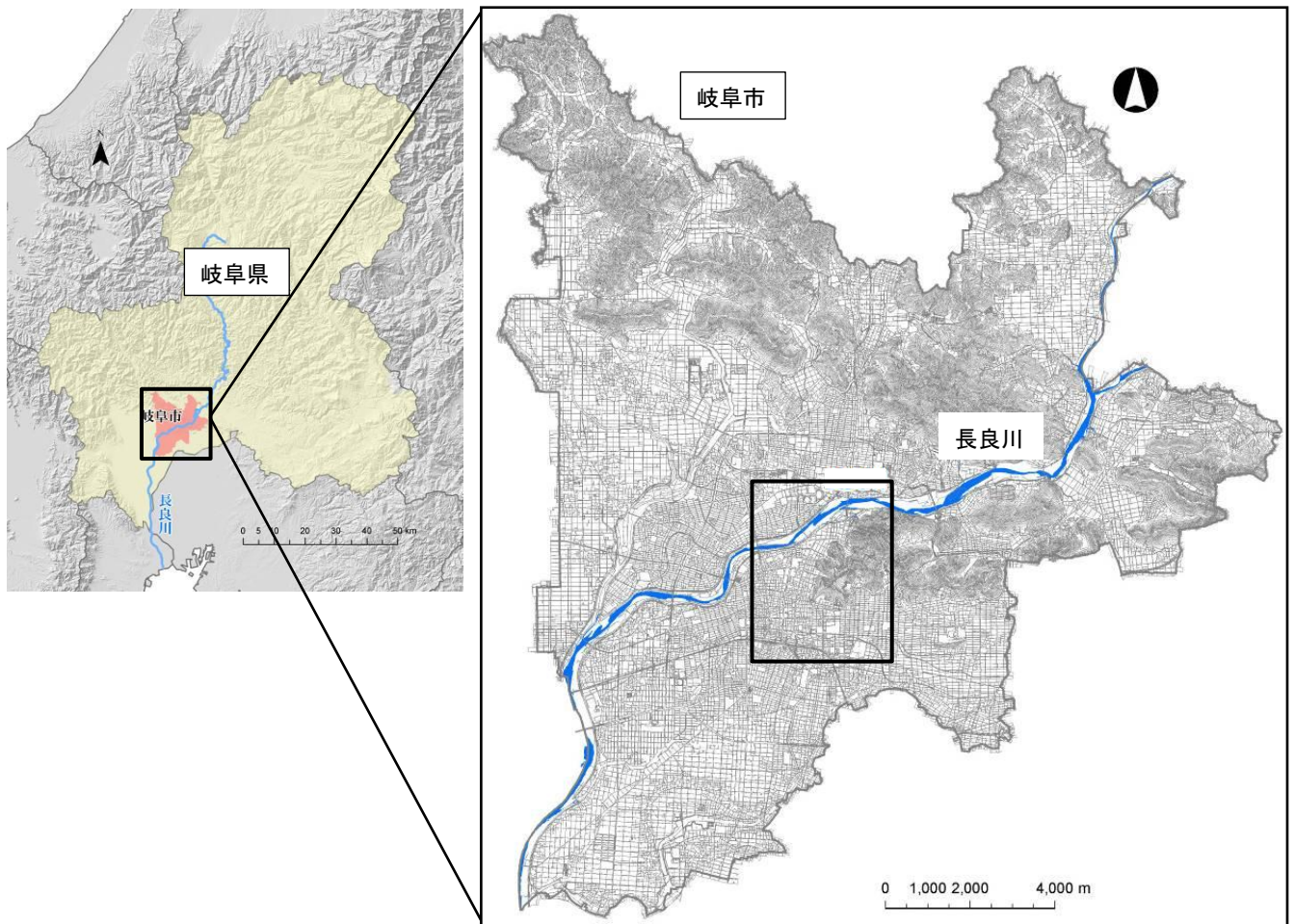
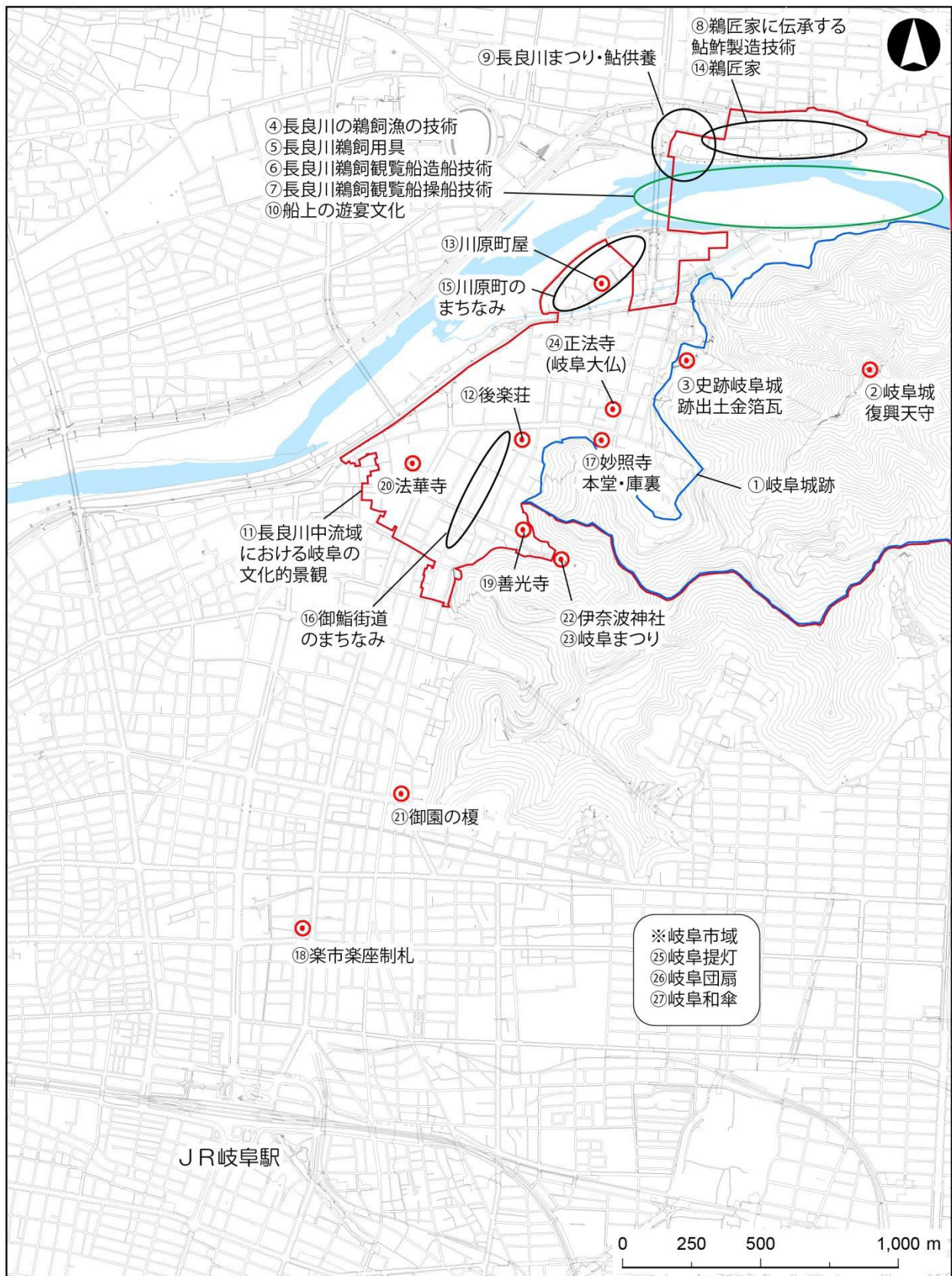


① 申請者	岐阜市	② タイプ	地域型 / シリアル型 A ☒ B C D E
③ タイトル			
【「信長のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜】			
④ ストーリーの概要（200字程度）			
戦国時代、岐阜城を拠点に天下統一を目指した織田信長。彼は戦いを進める一方、城内に「地上の楽園」と称される宮殿を建設、軍事施設である城に「魅せる」という独創性を加え、城下一帯を最高のおもてなし空間としてまとめあげる。 自然景観を活かした城内外の眺望や長良川での鵜飼観覧による接待。冷徹なイメージを覆すような信長のおもてなしは、宣教師ルイス・フロイスら世界の賓客をも魅了した。岐阜城が城としての役割を終えた後も信長が形作った城・町・川文化は受け継がれ、現在の岐阜の町に息づいている。			

市町村の位置図（地図等）



構成文化財の位置図 (地図等)



ストーリー

戦国時代、織田信長の義父にあたる斎藤道三は井口（いのくち）と呼ばれる城と町を築いた。後にその町を手に入れた信長は、この地を岐阜と名付けるとともに「天下布武」を掲げ、天下取りの夢に邁進する。日本史上、最も有名な人物の一人である彼は、冷徹非道、戦上手、改革者、破壊者等のイメージで語られることが多いが、急峻な岐阜城やその城下で行ったのは戦いではなく、意外にも手厚いおもてなしであった。信長は軍事の力で征服するだけでなく、文化の力で公家、商人、有力大名等の有力者をもてなすことで、仲間を増やしていったのである。

岐阜城に入城した信長は、最初に城の大改造に着手する。山麓では比類ない巨大庭園を持った迎賓館が造られた。近年、岩盤を自然風に加工した庭園が発掘調査により複数見つかっており、その全体像が判明しつつあるが、それはまるで山水画の世界を原寸大で再現したような壮大なスケールで、他に例がない。ルイス・フロイスは、山麓の建物を「宮殿」と称し、「地上の楽園」のようであったと記している。山上の城郭部分は石垣を用いて堅固な城郭に造り替えられたが、信長はなんとその場所にも人を招いた。このように彼は戦いを進める一方、金華山や長良川の美しい自然環境や眺望を活かして、岐阜の地に最高のおもてなし空間を創出していったのである。そして限られた人しか入れない特別な場所で、通常家臣が行うような案内や給仕を自ら行う、これが信長流のおもてなしであった。

武田信玄の使者「秋山伯耆守」、京都の公家「山科言継」、堺の茶人・商人「津田宗及」、そしてイエズス会宣教師の「ルイス・フロイス」や「フランシスコ・カブラル」、多くの有力者が信長に会いに岐阜を訪れ、冷徹なイメージを覆すおもてなしを受けている。そして、その様子は国内のみならず、手紙を通じて広くヨーロッパにも伝わった。

もてなしの拠点である山麓居館は訪問者が最初に招かれる場所で、そこでは建物や庭の見学、踊りと歌、オヤツや食事、贈り物等が行われた。日本布教長フランシスコ・カブラル来訪の際、信長は歓迎の晩餐会を開くが、食事までの待ち時間に自ら果物を持っていくとともに、庭にいる鳥を殺させて料理に出すよう命じている。また名物茶器拝見のため訪れた津田宗及に対しては、彼のためだけの茶会を開き、美濃特産の干柿を含んだ豪華な料理を振る舞うなどして、その思いに応えた。堺の代表的な町衆であった宗及の扱いは破格で、食事の給仕は信長の息子信雄が行った上、飯のおかわりは信長自らがよそっている。

フロイスや山科言継は山上にも招かれ、軍事施設である城内の見学をした。豪華な座敷では音楽を聴きお茶や食事をいただいたが、その際も信長が膳を運んだり、給仕を行った。濃尾平野を一望する山上からの絶景は、昔も今も大



山麓居館の庭園復元イメージ



津田宗及に振る舞われた料理の復元



フロイスと信長（イメージ）

きな見どころである。言継は「**陰難の風景、言語に説くべからず**」とその感想を記している。

信長は、楽市楽座の一方で川湊の商人に舟木座の結成を認めるなど柔軟なまちづくりを行い、道三が築いた長良川の水運を基軸とした城下町を**国内有数の商業都市**へ発展させた。街路はこの時から変わっておらず、「**戦国城下町**」としての町の骨格は、現在に継承されている。フロイスはその町に一万人が住んでいたと記し、賑わいの様子を「バビロン」の混雑と表現した。また柴田勝家の邸宅では「食事をするまで帰してもらえなかった」そうで、**城下町での手厚いおもてなし**が窺える。

言継は一ヶ月以上に及ぶ岐阜滞在期間中に、善光寺や法華寺など城下町の名所を訪れているが、評判の灯籠は人ごみが激しかったため見物を断念している。時期が合えば伊奈波神社の祭礼も見物しただろう。**岐阜まつり**と呼ばれる一連の祭礼は地域を代表する祭りとして継承されており、踊山車やカラクリ山車、神輿の練り込みが披露されるなど春の風物詩となっている。城下町では団扇など、上流から運ばれた和紙や竹などを用いた文化が育まれた。その文化は廃城後もさらに洗練され、提灯や和傘、そして日本最大の漆箔の大仏である岐阜大仏を生み出し、町に更なる賑わいをもたらした。

秋山伯耆守は山麓での食事や能の鑑賞の後、長良川での船による**鵜飼観覧に招かれた**。信長は武田信玄に気を遣い、獲れた鮎を自ら確認して甲府に届けさせている。また信長は「鵜匠」の名称を与え、禄米十俵を給して保護したと伝えられており、その後も徳川家康・秀忠親子が鑑賞しこれを称えたことで、鵜飼は時代を通じて大事に守られてきた。

松尾芭蕉は「**おもしろうてやがて悲しき鵜舟かな**」と有名な句を残しており、近代には英国皇太子やチャップリン等、国内外の賓客が鵜飼観覧に訪れている。

鵜飼でとれる鮎は、柿と共に古代から美濃の特産品であった。江戸時代になると町中の御鮎所で調製された**鮎鮓**が、御鮎街道と呼ばれる道を通って将軍家に献上されるようになる。現在も鵜匠家には鮎鮓の製造技術が伝承され、年末年始の贈答用として製造されている。鵜飼を中心としたお客をもてなすための様々な技術や遊宴文化は今も伝承され多くの観覧客を魅了しているが、このような**鵜飼文化は日本独自の**ものであり、現代まで途切れることなく受け継がれているものは長良川の鵜飼のみである。

自然景観を背景に行われる饗応は、中世以前から日本各地に存在するが、その根底には自然に溶け込むことに美意識を見出すという**日本人の伝統的な価値観**がある。信長は金華山や長良川、城下町の賑わいが一体となった素晴らしい景観や鵜飼文化にその価値を見出した上で、軍事施設である城に「**魅せる**」という**独創性を加え**、他に例の無いおもてなし空間としてまとめあげ、饗応を行った。岐阜は**信長自慢のおもてなし都市**だったのである。その**信長が形作った戦国時代の城・町、そして長良川の鵜飼文化**は、岐阜城が城としての役割を終えた後も受け継がれ、今も岐阜の町に息づいている。

なお、信長はフロイスとの別れ際に次のように告げている。「**美濃へは何度でも訪れよ**」と。



岐阜まつり



鵜飼観覧の様子

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
①	岐阜城跡	国史跡	信長の居城。山上の城郭と山麓の居館の2ヶ所でもてなしが行われた。江戸時代も尾張藩主らが見物に訪れており、明治以降になると一般に開放された。	
②	岐阜城復興天守	文化的景観 重要な構成要素	天守からの眺めは多くの人を魅了した。その姿は、遠くからでも存在感を示し、岐阜市のシンボルとして親しまれている。現在は昭和31年に造られた2代目の復興天守。	
③	史跡岐阜城跡(織田信長居館跡)出土金箔飾り瓦	市重要文化財	岐阜城山麓のもてなしの場である中心建物を飾った金箔瓦。日本で初めて城郭で用いられた。	
④	長良川の鵜飼漁の技術	国重要無形民俗文化財	近世以前からの伝統を継承した漁法。信長をはじめとする時の権力者は、鵜飼見物をおもてなしとして用いた。江戸時代以降もチャップリンをはじめ、世界の賓客が見物している。	
⑤	長良川鵜飼用具	国重要有形民俗文化財	長良川の鵜飼に関する用具一式。鵜匠の伝統的な装束は江戸時代後期には成立した。	
⑥	長良川鵜飼観覧船造船技術	市無形民俗文化財	客を乗せるために屋根を備えた観覧船の需要が高まり、他の川船と異なる観覧船造船技術が発達した。	
⑦	長良川鵜飼観覧船操船技術	市無形民俗文化財	船からの鵜飼見物を支える船頭の操船技術。河床が川石である環境に合わせ、サオを主体にカイを併用する操船技術が発達した。	
⑧	鵜匠家に伝承する鮎鮓製造技術	市無形民俗文化財	古代から献上品として珍重されてきた鮎鮓の製造技術。岐阜の食文化を示すもので、今も年末年始の贈答用に製造されている。	
⑨	長良川まつり・鮎供養	未指定	鵜飼にまつわる祭事。旧暦6月6日に神明神社で行われる水運安全祈願の祭礼で、同じ日には鵜匠をはじめとする関係者による鮎供養の祭事が行われる。	
⑩	船上の遊宴文化	未指定	長良川の舟遊びの文化。中世においても鵜飼観覧と舟遊びは一体のものであった。現在も長良川鵜飼から生まれた小唄「風折烏帽子」などの伝統的な遊興文化が良好に継承されている。	
⑪	長良川中流域における岐阜の文化的景観	国重要文化的景観	もてなしの舞台となった長良川、岐阜城・金華山、城下町一帯の景観。街区などのまちの骨格は戦国時代にまでさかのぼる。	

⑫	後楽荘（日本料理店）	文化的景観 重要な構成要素	まちでのおもてなしの場のひとつ。明治時代以降、金華山を眺望できる部屋で客をもてなした。	
⑬	川原町屋（喫茶店）	文化的景観 重要な構成要素	まちでのおもてなしの場のひとつ。天守を眺望できる部屋をもうけて、客をもてなした。部屋は明治末の復興天守建設を受けて造られた。	
⑭	鵜匠家	文化的景観 重要な構成要素	鵜飼屋地区に存在する 6 件の鵜匠の家。主屋のほか、鵜の世話や漁の運営に必要な鳥屋、水場、松小屋などが設けられている。	
⑮	川原町のまちなみ	文化的景観 重要な構成要素	川湊の近くに発展した集落。かつては多くの紙問屋や材木問屋が軒を連ね、現在も独特の白木の格子が続く美しい町並みが継承されている。一部の建物は文化的景観の重要な構成要素となっている。	
⑯	御鮪街道のまちなみ	文化的景観 重要な構成要素	当時の主要道路。江戸時代、鮎鮪を江戸まで運んだため御鮪街道と呼ばれるようになった。現在も旧紙問屋など多くの店舗が立ち並ぶ。	
⑰	妙照寺本堂・庫裏	市重要文化財	江戸時代、松尾芭蕉が約 1 ヶ月滞在した寺。芭蕉はここを拠点に金華山登山や鵜飼見物を行った。また岐阜御成の際には藩主の休憩所ともなった。	
⑱	楽市楽座制札附織田信長 百姓帰住制札 5 点	国重要文化財	当時のまちのにぎわいを物語る資料。信長がまちの活性化のため出した制札。	
⑲	善光寺	未指定	山科言継が訪れた城下町の名所で、滞在中に 2 度お参りに訪れている。信長の嫡子信忠により信州の善光寺如来が移されていた時期もあった。	
⑳	法華寺	未指定	山科言継が訪れた城下町の名所。信長の入城後に清須から移転したと伝えられる寺で、言継は長良川とセットで訪れている。	
㉑	御菌の榎	市史跡	当時のまちのにぎわいを物語る場所。楽市の市神として祀られたとされる榎で、江戸時代、朝日文左衛門は金華山観光をする前に立ち寄っている。	
㉒	伊奈波神社	未指定	天文 8（1539）年、築城に伴い斎藤道三が金華山から現在地に移したと伝えられる。岐阜市の総氏神で旧県社。	
㉓	岐阜まつり	市有形民俗文化財	中世から続く伊奈波神社の祭礼。現在は 4 月第 1 土曜日に行われている。江戸時代の史料には 27 台の山車が描かれるなど町を挙げての祭りであった。現在残されている 4 台の山車は、市の文化財に指定されている。	
㉔	正法寺（岐阜大仏）	文化的景観 重要な構成要素 県重要文化財 市重要文化財	材木や竹、和紙等からなる民芸的な大仏は、大仏殿と一体で造られ、町のランドマークになっている。武家屋敷跡地に立地しており、まちでのおもてなしの拠点の一つ。近年まで境内で精進料理も提供していた。	

②⑤	岐阜提灯	国登録有形民俗文化財 (H28. 1. 15 答申、 H28. 3 告示予定)	上流から運ばれた美濃和紙と近隣で産出された良質の竹を利用して造られる工芸品。言継の記録にある、京都まで評判が知れ渡っていた美濃の灯籠は、この提灯であった可能性がある。	
②⑥	岐阜団扇	未指定	美濃の手漉き和紙と良質な竹を用いて作られた工芸品。室町時代には岐阜の団扇が宮中に献上されていたとの記録がある。	
②⑦	岐阜和傘	未指定	江戸時代、下級武士の内職として奨励されたことにより、地場産業としての基礎が確立された。現在も、加納地区を中心に伝統の技が受け継がれている。	

(※ 1) 文化財の名称には適宜振り仮名を付けること。

(※ 2) 指定・未指定の別、文化財の分類を記載すること(例：国史跡、国重文、県有形、市無形、等)。

(※ 3) 各構成文化財について、ストーリーとの関連を簡潔に記載すること(単に文化財の説明にならないように注意すること)。

(※ 4) ストーリーのタイプがシリアル型の場合のみ、市町村名を記載すること(複数の都道府県にまたがる場合は都道府県名もあわせて記載すること)。

構成文化財の写真一覧

① 岐阜城跡



② 岐阜城復興天守



③ 史跡岐阜城跡（織田信長居館跡）出土金箔飾り瓦



④ 長良川の鵜飼漁の技術



⑤ 長良川鵜飼用具



⑥ 長良川鵜飼観覧船造船技術



※複数ページにわたっても可

⑦長良川鵜飼観覧船操船技術



⑩船上の遊宴文化



⑧鵜匠家に伝承する鮎鮓製造技術



⑪長良川中流域における岐阜の文化的景観



⑨長良川まつり・鮎供養



⑫後楽荘（座敷からみた岐阜城）



※複数ページにわたっても可

⑬川原町屋（座敷からみた岐阜城）



⑯御鯔街道のまちなみ



⑭鵜匠家



⑰妙照寺本堂・庫裏



⑮川原町のまちなみ



⑱樂市樂座制札



⑱善光寺



㉒伊奈波神社



㉓法華寺



㉔岐阜まつり



㉕御菌の榎



㉖正法寺（岐阜大仏）



②⑤ 岐阜提灯



②⑥ 岐阜団扇



②⑦ 岐阜和傘



日本遺産を通じた地域活性化計画

認定番号	日本遺産のタイトル
6	「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜

(1) 将来像 (ビジョン)

岐阜市のまちづくりの総合的な方針である「岐阜市未来のまちづくり構想」では、【シビックプライドの醸成】、【持続可能な観光まちづくり】を推進する取り組みとして、日本遺産を活かしたまちづくりを位置づけている。また、それに基づく分野別計画、個別計画において、日本遺産を活用する方針や関連事業を示している。

「岐阜市文化財保存活用地域計画」…日本遺産をベースにサブストーリーを設定

「岐阜市歴史的風致維持向上計画」…「信長公のおもてなし」にまつわる歴史的風致を位置づけ

「岐阜市観光ビジョン」…おもてなし・戦国城下町をキーワードにアクションプランを設定

「岐阜市シティプロモーション計画」…地域資源を活かしたプロモーション戦略を策定

⇒上記の計画を踏まえ、日本遺産を活用した岐阜市の将来像を以下のように設定する。

ー岐阜市の将来像ー

◎統一的なコンセプトで、すべてのプロジェクトがつながっており、雅で驚きに満ちた信長公の「世界」を感じられる文化観光都市となっている。

来訪者

●「信長公のおもてなし」を随所で感じられ、世界に選ばれる観光地となっている。

- ・構成文化財の調査・整備が進展し、深みを増したストーリーに触れることができる。
- ・日本遺産のビジターセンターをはじめとした施設や店舗、城下町のサイン看板、案内を行うガイド、地域住民との触れ合いにより、充実したおもてなしを感じることができる。
- ・昼も夜も日本遺産を楽しめるまちとして多くの方が宿泊し、観光消費額が拡大している。

地域住民

●普及啓発の取り組みを通じて、多くの市民が日本遺産の当事者意識を共有している。

- ・日本遺産ストーリーに対する認知度・理解度が向上し、その魅力を市民が自慢している。
- ・市民がおもてなしの当事者として、様々な場面で活躍している。
- ・親から子に日本遺産の良さが伝えられ、次世代の地域プレイヤーが登場している。

行政・民間事業者等

●マーケティングに基づいた議論と戦略を重視して、日本遺産事業を推進している。

- ・地域DMOを中心に官民が連携して、マーケティング調査や情報共有、分析、戦略検討、PDCA サイクルの検証を行う体制が確立し、事業を実施している。
- ・民間事業者により、日本遺産を活用した様々な土産品や観光商品、イベントが提供され、来訪者の多様なニーズに対応できている。
- ・宿泊税や寄附金等の導入・拡大により、持続可能な財源が確保されている。

将来像の実現に向け取り組むことで、観光振興を図るだけでなく、市民も価値を再認識しておもてなしの当事者として活躍する。観光消費額の拡大と安定的な財源確保に取り組み、その一部を構成文化財の調査や保存・整備に充てることで、文化財の価値を顕在化させ、さらに地域の魅力を高めて来訪者を呼び込む。これらの好循環により、日本遺産を活用した地域活性化と文化財の継承を目指す。

(2) 地域活性化計画における目標

※各目標に対し、複数の指標を設定可

目標①：地域住民や国内外からの来訪者が日本遺産のストーリーに触れ、その魅力を体験すること

指標①－A：日本遺産を体感するツアーの実施件数（件）

年度	実績					
	2021	2022	2023			
数値	433	647	650			
年度	目標					
	2024	2025	2026	2027	2028	2029
数値	650	663	676	689	702	715
指標・目標値の設定の考え方及び把握方法		ストーリー体験の提供回数を指標とする。NPO 法人 ORGAN が実施する日本遺産エリアを案内するガイドツアー及び宿泊者向けツアー等の受注件数で把握する。 体験機会の増大を目指し、2023 年度の推定値から 6 年間で 10%の伸び幅を目標値として設定した。				

目標①：地域住民や国内外からの来訪者が日本遺産のストーリーに触れ、その魅力を体験すること

指標①－B：日本遺産に関するガイドンスを行う施設の入館者数（人）

年度	実績					
	2021	2022	2023			
数値	209, 202	354, 457	403, 134			
年度	目標					
	2024	2025	2026	2027	2028	2029
数値	410, 000	320, 000	50, 000	50, 000	430, 000	440, 000
指標・目標値の設定の考え方及び把握方法		日本遺産ストーリーを紹介・展示を行う施設の入館者数を指標とする。岐阜城天守閣（有料・無料）、岐阜市歴史博物館、ガイドンス施設の来場者数で把握する。 来訪者の増大を目指して、2023 年から 6 年間で約 10%の伸び幅を目標値として設定した。歴史博物館、岐阜城天守閣はリニューアルや耐震化工事による閉館を予定しており、これらを考慮した数値としている。				

目標②：地域において日本遺産のストーリーが誇りに思われること						
指標②－A：日本遺産ストーリーの理解度（％）						
年度	実績					
	2021	2022	2023			
数値	—	—	—			
年度	目標					
	2024	2025	2026	2027	2028	2029
数値	85	85	85	85	85	85
指標・目標値の設定の考え方及び把握方法		出前授業及び出前講座での日本遺産信長公のおもてなしのストーリーの理解度を指標とする。受講者アンケートにおいて把握。換算値で毎年 85％を目標値として設定した。				

目標②：地域において日本遺産のストーリーが誇りに思われること						
指標②－B：日本遺産のまちであることを誇りに感じる割合（％）						
年度	実績					
	2021	2022	2023			
数値	—	—	—			
年度	目標					
	2024	2025	2026	2027	2028	2029
数値	75	75	75	75	75	75
指標・目標値の設定の考え方及び把握方法		出前授業及び出前講座の受講者が、日本遺産のまちであることを誇りに感じる割合を指標とする。受講者アンケートにおいて把握。換算値で毎年 75％を目標値として設定した。				

目標③：日本遺産を活用した事業により、経済効果が生じること						
指標③－A：岐阜城天守閣及び鶺鴒観覧船事業の収入額（千円）						
年度	実績					
	2021	2022	2023			
数値	71,241	230,829	289,097			
年度	目標					
	2024	2025	2026	2027	2028	2029
数値	280,000	285,600	240,600	240,600	302,400	308,000
指標・目標値の設定の考え方及び把握方法		主要な観光施設である岐阜城天守閣及び鶺鴒観覧船事業の収入額を指標とする。岐阜市の事業統計により把握。 経済効果の増大を目指し、2023年の推定値から6年間で10%の伸び幅を目標値として設定した。なお天守閣は耐震化工事による閉館を予定しており、これらを考慮した数値としている。				

目標③：日本遺産を活用した事業により、経済効果が生じること						
指標③－B：宿泊客一人当たりの観光消費額（円）						
年度	実績					
	2021	2022	2023			
数値	—	25,175	28,385			
年度	目標					
	2024	2025	2026	2027	2028	2029
数値	28,500	29,070	29,640	30,210	30,780	31,350
指標・目標値の設定の考え方及び把握方法		宿泊客一人当たりの観光消費額の平均値を指標とする。宿泊施設及び観光施設に設置したQRコードによるマーケティング調査を常時実施して把握。 客単価の向上を目指し、2023年の値から6年間で10%の伸び幅を目標値として設定した。				

目標④：日本遺産のストーリー・構成文化財の持続的な保存・活用が行われること						
指標④－A：日本遺産に関するふるさと納税の合計寄附額（千円）						
年度	実績					
	2021	2022	2023			
数値	437	2,129	4,590			
年度	目標					
	2024	2025	2026	2027	2028	2029
数値	4,000	4,400	4,800	5,200	5,600	6,000
指標・目標値の設定の考え方及び把握方法		「岐阜市鶺鴒観覧船事業応援寄附金」と「（仮称）ぎふ歴史遺産未来継承寄附金」の合計寄附金額を指標とする。岐阜市への寄附金額により把握。 寄附額の増加を目指し、2023年度推定値から毎年40万円の増加を目標値として設定。				

目標④：日本遺産のストーリー・構成文化財の持続的な保存・活用が行われること						
指標④－B：日本遺産の構成文化財が適切に保全されている割合（％）						
年度	実績					
	2021	2022	2023			
数値	100	100	100			
年度	目標					
	2024	2025	2026	2027	2028	2029
数値	100	100	100	100	100	100
指標・目標値の設定の考え方及び把握方法		構成文化財が棄損滅失していない割合を指標とする。構成文化財の状況確認により把握。 適切な管理と活用が行われている状態を常に維持することを目指し、目標値をすべて100％に設定。				

目標⑤：地域への経済効果も含め広く波及効果が生じること						
指標⑤－A：岐阜市の宿泊者数（人）						
年度	実績					
	2021	2022	2023			
数値	430, 897	685, 181	638, 353			
年度	目標					
	2024	2025	2026	2027	2028	2029
数値	630, 000	640, 000	640, 000	640, 000	700, 000	730, 000
指標・目標値の設定の考え方及び把握方法		市内の主要な旅館・ホテルが加盟する岐阜長良川温泉旅館協同組合及び岐阜ホテル会の宿泊者数の合計を指標とする。両団体の宿泊統計により把握。 今後のインバウンドの増加への取り組みも見据え、2023 年の推定値から 2029 年度までに 10 万人の増加を目標値として設定した。なお、天守閣の閉館や会議場施設等の改修工事を考慮した数値としている。宿泊は人数よりも客単価の向上を重視する方針であるため、一人当たりの単価等他の指標と合わせて総合的に評価を行っていく。				

目標⑤：地域への経済効果も含め広く波及効果が生じること						
指標⑤－B：岐阜市の外国人宿泊者数（人）						
年度	実績					
	2021	2022	2023			
数値	1, 945	19, 965	62, 389			
年度	目標					
	2024	2025	2026	2027	2028	2029
数値	55, 000	55, 000	60, 000	60, 000	70, 000	80, 000
指標・目標値の設定の考え方及び把握方法		市内の主要な旅館・ホテルが加盟する岐阜長良川温泉旅館協同組合及び岐阜ホテル会の外国人宿泊者数の合計を指標とする。両団体の宿泊統計により把握。 岐阜市インバウンド推進室の設置と今後の取り組みの推進、受入環境等を踏まえ、2023 年の推定値から 6 年間で最終的に 2.5 万人増となる数値を目標値として設定した。なお、天守閣の閉館や会議場施設等の改修工事を考慮した数値としている。				

目標⑤：地域への経済効果も含め広く波及効果が生じること						
指標⑤－C：ぎふ金華山ロープウェイの利用者数（人）						
年度	実績					
	2021	2022	2023			
数値	240,520	375,812	415,565			
年度	目標					
	2024	2025	2026	2027	2028	2029
数値	390,000	376,000	191,000	256,000	451,000	456,000
指標・目標値の設定の考え方及び把握方法		日本遺産目当ての来訪者の多数が訪れるぎふ金華山ロープウェイの利用者数（片道・往復とも1名とカウント）。岐阜観光索道株式会社の集計により把握。 2023年度推定値から6年間で10%の伸び幅を設定。工事に伴う天守閣閉館やロープウェイの保守工事を考慮した数値としている。				

（3）地域活性化のための取組の概要	
前回審査時の課題とこれまでの取り組み、今後の方針	
課題① ビジョンの明確化、日本遺産を活用して取組む事業計画が必要	
進展状況 …将来像に観光振興、シビックプライド、産業活性化の3つの柱を設定、ストーリーを体感できる観光商品の充実、HPリニューアル等を行ってきた。 今後の展望…地域DMOと連動したターゲットを設定し、観光商品のブラッシュアップを図るとともに、受入環境の充実を図る。	
課題② 民間事業者と連携した協議会の推進体制の具体化が必要	
進展状況 …ぎふ歴史遺産活用推進協議会の下に日本遺産戦略検討WGを設置。2か月に1回会議を開催し、マーケティング調査の分析と戦略検討を行ってきた。 今後の展望…地域DMO候補法人と、地域連携DMOの連携による地域のマネジメント体制の構築を進める。財源確保として、新たな財源（宿泊税等）の検討、ふるさと納税メニューの追加に取り組む。	
課題③ これまでの実績に基づいた事業や体制の展開の記載が必要	
進展状況 …実態把握のため、マーケティング調査を実施し課題を把握してきた。 （課題：外国人旅行者獲得、滞在時間及び観光消費額の拡大） 今後の展望…宿泊観光を推進するため、夜の日本遺産コンテンツを活用したナイトタイムエコノミーを推進する。	
課題④ 成果の計測ができる具体的な指標の設定が必要	
進捗状況 …マーケティング調査やWGでの連携によりデータを把握できる体制を構築して、成果を図ってきた。 今後の展望…調査項目にNPS等の指標を取り入れるなど見直しを行いながら、継続的に取り組みを評価していく。	
その他の課題と展望…信長公の特性を体現した岐阜城の不断の調査・研究 ICT技術を活用した学校教育とのさらなる連携 民間団体や企業の支援充実	

ターゲットの設定 — 地域 DMO と連動する以下の 4 つのターゲット層を設定

ターゲット① 本物志向で岐阜に興味を持つ首都圏の観光客

東海地区以外では、首都圏からの来訪者が多いことから設定。首都圏のハイエンドユーザーである知的好奇心の旺盛な層に対し、本物志向への訴求を図る。

ターゲット② 日本の歴史・文化が大好きな訪日外国人観光客

アジア圏をはじめ、欧米豪地域でも戦国武将が人気を博していることから設定。織田信長公をフックとし、岐阜県が推奨する訪日外国人向け武将観光と連携して誘客を見込む。

ターゲット③ 名古屋都市圏を中心としたアクティブな若年層

名古屋圏からの来訪者は 50 歳代以降の方が多い状況であり、若年層に対する取り組みが必要なことから設定。短時間で往来可能な至近性を謳った商品を造成し、集客を図る。

ターゲット④ MICE に参加して岐阜市を訪れる団体

MICE 参加者は比較的滞在時間が長く、宿泊、飲食、観光等による大きな経済波及効果を生み出すことから設定。主催者等に適した観光情報と支援策を紹介し、誘致に繋げる。

評価項目ごとの取り組みの方針

組織整備

- ・ **地域連携 DMO** である NPO 法人 ORGAN は、岐阜市を中心とした長良川流域の周遊促進に主眼を置いた取組を実施し、岐阜観光コンベンション協会は **地域 DMO** として、様々なステークホルダーと調整を図りながら観光地域づくりの舵取りを行う。2 者を中心に関係者が連携することにより、エリアマネジメントから観光事業まで、より強力な体制で日本遺産事業を推進する。

- ・ 新たな観光振興財源や寄附金の検討、日本遺産に関連したふるさと納税の推進を行うなど、多様な **財源確保**に取り組む。

戦略立案

- ・ **ターゲット層**に対応した具体的なプロモーション・事業戦略を検討する。昼間に加え、**夜の日本遺産の魅力発信**も推進する。

- ・ 市インバウンド推進室（2024 年設置）を中心に、**外国人旅行客獲得のためのマーケティング調査**及び戦略立案を行う。

人材育成

- ・ おもてなしを実践する観光従事者に対する継続的な **研修**と、日本遺産を活用した事業に取り組む **民間企業や市民団体に対する支援の充実**を行う。

整備

- ・ 日本遺産の情報発信拠点となる **ビジターセンター**をはじめとした関係展示施設整備及び説明・案内看板再整備等の **環境整備**を行う。また外国人観光客の受入環境整備支援を行う。

- ・ 来訪者がストーリーを体験する上で必要な環境を整えるため、岐阜公園をはじめとした日本遺産エリア一帯の **空間整備、交通アクセス整備事業**を実施する。

- ・ 価値の顕在化やストーリーの深掘り、文化財の継承を図るため、**構成文化財の調査・研究・整備**を推進する。

観光事業化

- ・ NPO 法人 ORGAN をはじめとした民間事業者による、日本遺産ストーリーを **体感できるツアー及び体験コンテンツ**の実施。合わせて高付加価値化も狙っていく。

- ・ 宿泊者や観光消費額の増加を目的に、日本遺産の夜の魅力を活用した **ナイトタイムエコノミー事業**の連携・PR を推進する。

- ・ 日本遺産ストーリーを伝える **ガイドの資質向上**のための研修を継続的に実施する。

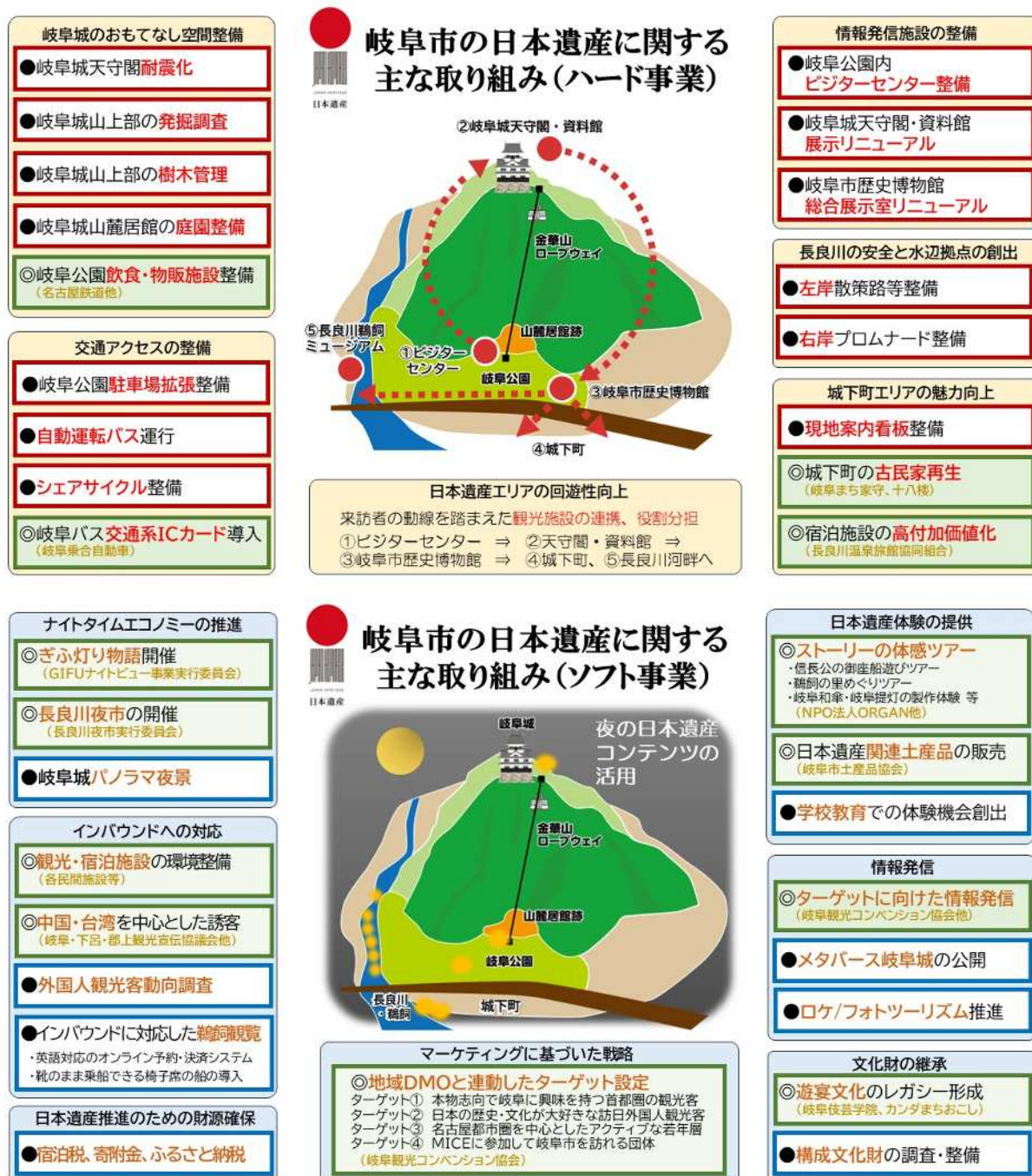
普及啓発

- ・「ぎふMIRAI'S (みらい)」推進事業との連携により、児童・生徒への日本遺産ストーリー浸透を図る。親子で学ぶことができる機会を設ける。
- ・中高生ガイドなど、子どもの当事者意識を醸成するような取り組みを検討する。
- ・市民団体と連携して日本遺産の普及啓発に取り組み、地域全体の日本遺産の理解度向上を図る。

情報編集・発信

- ・ターゲットにアプローチできる効果的な情報発信を推進する。
- ・フォトツーリズム、ロケツーリズムを活用した発信を行う。
- ・海外に向けたプロモーションを強化し、インバウンド誘客を推進する。

※ハード面では、これまで計画段階であったビジターセンターを始め、説明・誘導看板、岐阜公園再整備、岐阜城山麓居館庭園整備、岐阜城天守閣耐震・展示リニューアル工事、歴史博物館総合展示室リニューアル工事等を2024年度から順次実施する。日本遺産のストーリーが体験できるよう、各施設が連携して情報発信に取り組む体制を構築する。



(4) 実施体制

2022 年度から、「ぎふ歴史遺産活用推進協議会」の下に「日本遺産戦略検討 WG」を設置し、2 か月に 1 回の頻度でマーケティング調査分析や戦略検討等を行ってきた。

2024 年 3 月末に、(公財) 岐阜観光コンベンション協会が地域 DMO 候補法人として登録されたため、2024 年度以降は地域 DMO 候補法人を中心とした日本遺産活用体制に移行する。

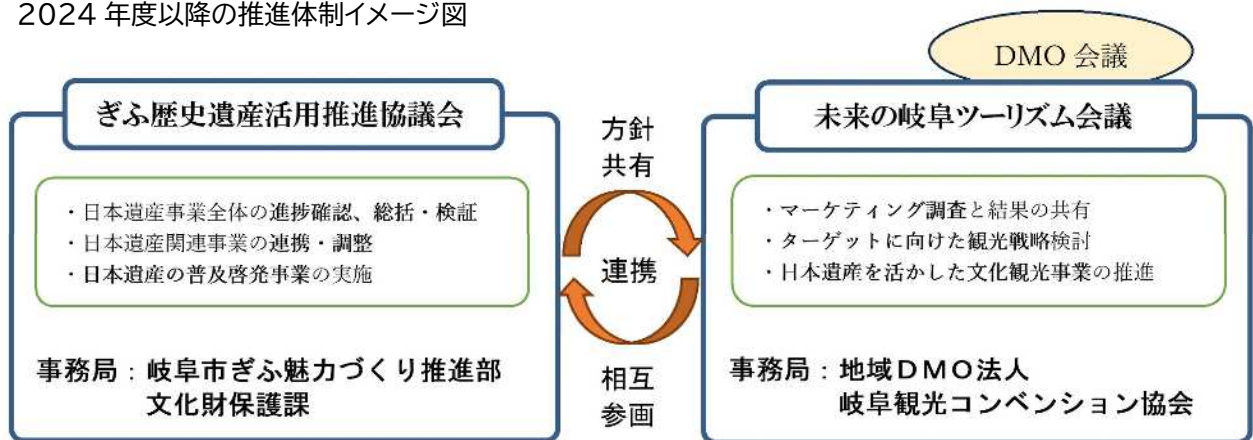
協議体制

- 日本遺産事業の進捗確認と総括、検証は、「**ぎふ歴史遺産活用推進協議会**」で議論
- マーケティング調査結果の共有やターゲットの設定、日本遺産を活用した観光戦略等は、市内観光関係団体で構成する「**未来の岐阜ツーリズム会議**」で議論

実施体制

- 日本遺産の体験事業、ガイド派遣事業等は、**NPO 法人 ORGAN**（地域連携 DMO）を中心に実施
- 日本遺産の事業調整、普及・啓発事業は、**ぎふ歴史遺産活用推進協議会事務局**（岐阜市ぎふ魅力づくり推進部文化財保護課）を中心に実施
- マーケティング調査や日本遺産を活かした観光事業は、**岐阜観光コンベンション協会**（地域 DMO 候補）を中心に実施
- 観光及びインバウンドに関する政策は**岐阜市ぎふ魅力づくり推進部観光コンベンション課**を中心に実施
- その他、**岐阜市関係課**において、観光地としての基盤整備、文化財の保存・整備、学校教育との連携を実施。

2024 年度以降の推進体制イメージ図



ぎふ歴史遺産活用推進協議会構成員

岐阜商工会議所
岐阜市旅館ホテル協同組合
協同組合岐阜市土産品協会
公益財団法人岐阜観光コンベンション協会【地域 DMO 候補】
岐阜市（市長公室、企画部、都市建設部、教育委員会、ぎふ魅力づくり推進部）

岐阜市未来のまちづくり財団
岐阜市教育文化振興事業団

未来の岐阜ツーリズム会議構成員（◎は前回までの日本遺産戦略検討 WG 構成員）

岐阜商工会議所
◎岐阜市長良川温泉旅館協同組合
◎一般社団法人岐阜ホテル会
一般社団法人日本旅行業協会 岐阜県支部
東海旅客鉄道株式会社
名古屋鉄道株式会社
岐阜乗合自動車株式会社
岐阜市周辺観光タクシー運営協議会
◎岐阜観光索道株式会社
◎協同組合岐阜市土産品協会

岐阜市商店街振興組合連合会
岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会
◎株式会社十六フィナンシャルグループ
一般社団法人岐阜県観光連盟
◎岐阜市まちなか案内人の会
◎岐阜市（ぎふ魅力づくり推進政策課、観光コンベンション課、文化財保護課）
◎特定非営利活動法人 ORGAN【地域連携 DMO】
◎公益財団法人岐阜観光コンベンション協会【地域 DMO 候補】

[人材育成・確保の方針]

・地域連携 DMO である NPO 法人 ORGAN が、地域プロデューサー・プレイヤーとしての中心的役割を担い、日本遺産を活用した観光事業を展開していく。

・2024 年度から（公財）岐阜観光コンベンション協会に DMO 推進部を設置するとともに、地域プロデューサーとしての役割を担う CMO（チーフ・マーケティング・オフィサー）を外部から登用する。今後、日本遺産をはじめとした岐阜市観光の中核として民間と連携して活動していく。

・地域連携 DMO である NPO 法人 ORGAN は、岐阜市を中心とした長良川流域の周遊促進に主眼を置いた取組を実施し、岐阜観光コンベンション協会は地域 DMO として、様々なステークホルダーと調整を図りながら観光地域づくりの舵取りを行う。2 者を中心に関係者が連携することにより、エリアマネジメントから観光事業まで、より強力な体制で日本遺産事業を推進する。

・「おんさい案内人」（有料）、「岐阜市まちなか案内人」（無料）、「美濃国戦国案内人」（有料）が日本遺産観光ガイドの役割を担う。ガイドに対して市が研修を実施し、市全体の観光受け入れ態勢の維持・向上を図る。

・おもてなしの人材育成として、宿泊施設や観光関係者を対象とした研修を実施する。
・小学校社会科副読本や、お祝い献立の給食、タブレットへの情報配信、フィールドワーク等による学校教育での日本遺産の学びを通じて、シビックプライド向上を図る。

・市民団体による日本遺産を活用した取り組みを育成・支援する。

・日本遺産アドバイザー2 名を委嘱。講演を行う他、「信長公のおもてなし」の掘り下げについて意見をいただく。

日本遺産アドバイザー

金子拓（東京大学史料編纂所 教授）
東光博英（京都外国語大学 講師）

日本中世史
キリシタン史

（５）日本遺産の取組を行う組織の自立・自走

現在、日本遺産事業は、岐阜市からの負担金その他、国や県の補助金を主たる財源としている。今後、安定的な財源を確保し、持続可能な観光地作りを推進するため、以下の取り組みを実施する。

・地域 DMO の事業費等に充てるための新たな観光振興財源（宿泊税等）の検討を行う。

・日本遺産の PR や民間企業支援、構成文化財の整備・維持管理に充てる財源として、ふるさと納税メニューへの「（仮称）ぎふ歴史遺産未来継承寄附金」追加を行う。

・企業版ふるさと納税の活用により、関連事業の取り組みを推進する。

日本遺産事業の自走には、認知度・理解度の向上と、日本遺産関連商品の自立的な開発、販売、収益強化が重要であり、引き続き、普及啓発と商品開発支援を推進する。

(6) 構成文化財の保存と活用の好循環の創出に向けた取組

事業の公開・普及啓発事業を通じて、日本遺産及びその構成文化財に対して応援してもらえる市民や来訪者の増加を目指すとともに、継続的な調査によって、「信長公のおもてなし」の新たな知見を加えていく。また、ふるさと納税メニューに「(仮称)ぎふ歴史遺産未来継承寄附金」を追加し、得た寄附金を文化財の保存継承の財源として活用する他、日本遺産に関するツアー等による収益の一部が保存継承の財源になるような仕組みについても研究を行うなど、文化財の保存と活用の好循環の創出に向けた取り組みを継続する。

(1) 日本遺産構成文化財を活かしたユニークベニュー事業の展開

「伝統・歴史」×「新ジャンル」のコラボレーションによるユニークベニュー事業を通じて、日本遺産の新たな魅力、「岐阜市にしかない」感動の創造・掘り起こしを行い、認知度の向上と文化財保護への関心を高める。

・「岐阜文化再発見民話ライブ」…岐阜大仏等の構成文化財を背景に、地域に伝わる民話の朗読やコンサートを実施する。

・「ぎふ灯り物語」…国の伝統的工芸品に指定された岐阜和傘、岐阜提灯等を用いたライトアップイベントで、構成文化財である岐阜城織田信長居館跡、岐阜大仏を舞台に実施する。

(2) 日本遺産構成文化財の調査成果の積極的な公開

文化財の調査成果を広く公開することで、文化財継承への関心を高め、市民の誇りや愛着の醸成、寄附や清掃ボランティア等への参加者増等につなげていく。

・岐阜城跡の発掘調査と情報発信、価値の顕在化のための史跡整備事業を実施する。

・長良川の鵜飼の鵜舟造船、船頭育成等、持続可能な鵜飼に向けた取り組みを実施する。

・岐阜大仏の調査成果公開事業及び将来に向けた保存整備の検討を行う。

・岐阜まつり総合調査と継承に向けた取り組みを実施する。

(3) 文化財関連計画による取り組みの推進と研究者との連携

関連会議において専門家の意見を伺いながら、計画に基づく構成文化財の保存と活用の取り組みを日本遺産と連携して推進し、次世代へ継承していく。

・『岐阜市文化財保存活用地域計画』(2020.7 認定) 【岐阜市文化財審議会】8名

市が目指す将来像「市民一人ひとりが、地域の歴史を誇り、語れるまち」「市民ぐるみで歴史遺産を守り伝えるまち」「歴史観光に訪れたくなる、魅力あふれるまち」を達成するため、日本遺産をベースにサブストーリーを設定し、方針に基づく98の事業を記載。重点事業として、下記の3つの計画に基づく事業を位置づけ。

・『長良川中流域における岐阜の文化的景観整備計画』(2021.3 策定)

【岐阜市長良川中流域の文化的景観検討委員会】7名

・『長良川の鵜飼漁の技術保存活用計画』(2021.7 認定)

【長良川の鵜飼漁の技術保存活用協議会】7名、専門部会5名

・『史跡岐阜城跡保存活用計画』、『史跡岐阜城跡整備基本計画』(2021.12 策定)

【史跡岐阜城跡整備委員会】11名

・その他会議

【岐阜大仏保存整備検討委員会】6名

【岐阜まつり文化財検討委員会】8名

【岐阜市歴史的風致維持向上協議会】12名

(7) 地域活性化のために行う事業

(7) - 1 組織整備

(事業番号 1 - A)

事業名		日本遺産事業推進のための体制整備	
概要		日本遺産事業の戦略に関する議論や、情報共有・事業調整を行う場を発展させる。また地域 DMO を中心とした体制整備を図る。	
	取組名	取組内容	実施主体
①	日本遺産を推進する組織体制の整備	2024 年度から DMO 会議として「未来の岐阜ツーリズム会議」を設置する。「日本遺産戦略検討 WG」の内容を継承し、引き続き取り組みを推進する。	ぎふ歴史遺産活用推進協議会・岐阜観光コンベンション協会
②	地域 DMO の登録申請	地域 DMO 候補の次のステップとして、地域 DMO への登録を目指す。	岐阜観光コンベンション協会
③	地域 DMO における CMO の配置等の組織整備	岐阜観光コンベンション協会内に DMO 推進部を設置するとともに、地域プロデューサーとしての役割を担う CMO（チーフ・マーケティング・オフィサー）を外部から登用する。	岐阜観光コンベンション協会
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2021	ぎふ歴史遺産活用推進協議会及び日本遺産戦略検討 WG への行政組織以外の参画者数		5 団体
2022			12 団体
2023			12 団体
2024	ぎふ歴史遺産活用推進協議会及び未来の岐阜ツーリズム会議への行政組織以外の参画者数		18 団体
2025			18 団体
2026			18 団体
2027			18 団体
2028			18 団体
2029			18 団体
事業費	2024 年度： 0 円 2025 年度： 0 円 2026 年度： 0 円		
継続に向けた事業設計	それぞれの会議の役割を明確化し、関係者が積極的に意見を言い合える環境を構築するなど、実行力のある組織を整備する。		
事業費	2027 年度： 0 円 2028 年度： 0 円 2029 年度： 0 円		
継続に向けた事業設計	地域プロデューサー・プレイヤーとしての中心的役割を担っている NPO 法人 ORGAN (地域連携 DMO) をはじめとした各種団体と連携し、日本遺産を活用した観光事業を展開していく。		

(事業番号 1 - B)

事業名		日本遺産事業推進のための財源確保	
概要		自立・自走した日本遺産事業、持続可能な観光地域づくりを推進するための多様な財源を確保する。	
	取組名	取組内容	実施主体
①	新たな観光振興財源の検討	日本遺産事業、地域 DMO 等の事業費に充てるための観光振興財源（宿泊税等）の導入に向けた検討を行う。	岐阜市
②	「（仮称）ぎふ歴史遺産未来継承寄附金」の創設	ふるさと納税に新たな寄附メニューを追加し、日本遺産の PR や日本遺産を活かした商品開発に取り組む民間企業の支援、構成文化財の整備・維持管理に充てる検討を行う。	岐阜市、ぎふ歴史遺産活用推進協議会
③	日本遺産に関連したふるさと納税の推進	日本遺産に関連したふるさと納税返礼品の充実や特集ページ等での PR を行い、得た寄附金を財源に日本遺産事業に充てる。	岐阜市、ぎふ歴史遺産活用推進協議会
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2021	「岐阜市鵜飼観覧船事業応援寄附金」の寄附額（千円）		437 千円
2022			2,129 千円
2023			3,871 千円
2024	「岐阜市鵜飼観覧船事業応援寄附金」と「（仮称）ぎふ歴史遺産未来継承寄附金」の合計寄附額（千円）		4,000 千円
2025			4,400 千円
2026			4,800 千円
2027			5,200 千円
2028			5,600 千円
2029			6,000 千円
事業費	2024 年度： 0 円 2025 年度： 0 円 2026 年度： 0 円		
継続に向けた事業設計	日本遺産のストーリーと寄附制度を合わせて紹介することで、認知度向上、寄附額の増加を目指す。		
事業費	2027 年度： 0 円 2028 年度： 0 円 2029 年度： 0 円		
継続に向けた事業設計	「（仮称）ぎふ歴史遺産未来継承寄附金」を財源とした民間企業支援のための補助金を検討するなど、持続可能な日本遺産活用の枠組みづくりに取り組む。		

(7) - 2 戦略立案

(事業番号 2 - A)

事業名	ターゲット層に向けたプロモーション・事業戦略の作成		
概要	マーケティング調査と情報共有を実施、ナイトタイムエコノミーを活用した日本遺産の魅力発信を柱に、ターゲットに届く戦略立案を行う。		
	取組名	取組内容	実施主体
①	他の行政計画への日本遺産の位置づけ	文化財、観光分野を始めとした各種行政計画に日本遺産「信長公のおもてなし」との関係性を整理し、位置づける。	岐阜市
②	観光マーケティング調査の実施	宿泊施設や観光施設での QR コードを用いたアンケート調査や統計データの集約によるマーケティング調査を実施する。	ぎふ歴史遺産活用推進協議会、岐阜観光コンベンション協会
③	インバウンドを対象としたマーケティング調査の実施	市内を訪れる外国人観光客を対象に、市内訪問の目的や消費額などの属性調査を行い、市のインバウンド事業を行う基礎資料とする。2024 年度から設置する岐阜市観光コンベンション課インバウンド推進室が中心となって実施。	岐阜市、岐阜観光コンベンション協会
④	日本遺産関係会議の開催による情報共有と戦略の作成	ぎふ歴史遺産活用推進協議会、未来の岐阜ツーリズム会議の定期開催による情報共有と戦略検討、PDCA サイクルの確認を行う。	ぎふ歴史遺産活用推進協議会、岐阜観光コンベンション協会
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2021	ぎふ歴史遺産活用推進協議会及び日本遺産戦略検討 WG の開催回数		5 回
2022			7 回
2023			10 回
2024	ぎふ歴史遺産活用推進協議会、未来の岐阜ツーリズム会議の開催回数		10 回
2025			12 回
2026			12 回
2027			12 回
2028			12 回
2029			12 回
事業費	2024 年度：3,850 千円 2025 年度：3,850 千円 2026 年度：3,850 千円		
継続に向けた事業設計	マーケティング調査の項目は会議で議論し、問題意識を明確にして実施する。また調査結果については未来の岐阜ツーリズム会議において共有し、多様な視点から議論・分析を行う体制を構築する。		
事業費	2027 年度：3,850 千円 2028 年度：3,850 千円 2029 年度：3,850 千円		
継続に向けた事業設計	マーケティング調査の結果、議論を蓄積し、各行政計画、日本遺産を通じた地域活性化計画の改定等の際に反映する。		

(7)－3 人材育成			
(事業番号 3－A)			
事業名		おもてなし人材の育成、支援	
概要		日本遺産に関わる観光事業者の研修・育成及び、活用に取り組む民間企業や市民団体への支援を行う。	
	取組名	取組内容	実施主体
①	観光事業関係者向けセミナーの開催	観光事業関係者を中心に日本遺産の理解向上とホスピタリティ意識(おもてなしの心)の高揚を図ることを目的とした研修・講演会を実施する。	岐阜観光コンベンション協会 他
②	日本遺産の活用・PR に取り組む民間企業への支援	日本遺産を活用した商品開発・PR を行う民間企業に対する支援を実施。補助金についても導入に向けて検討を行う。	岐阜市
③	日本遺産の活用・PR に取り組む市民団体への支援	日本遺産や構成文化財の活用を行う市民団体に対して「クラウドファンディング型ふるさと納税」や「岐阜市郷土の宝顕彰事業」、「岐阜市市民活動支援事業」等により、活動を支援する。	岐阜市
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2021	日本遺産の活用・PR に取り組む民間企業、市民団体の数		2 団体
2022			2 団体
2023			9 団体
2024			9 団体
2025			9 団体
2026			10 団体
2027			10 団体
2028			10 団体
2029			10 団体
事業費	2024 年度：100 千円 2025 年度：100 千円 2026 年度：1,000 千円		
継続に向けた事業設計	日本遺産を活用する市民団体について立ち上げ支援は市民活動支援部局で行い、長期的な活動支援は文化財部局で行う体制とする。		
事業費	2027 年度：1,300 千円 2028 年度：1,500 千円 2029 年度：2,000 千円		
継続に向けた事業設計	民間企業支援については、「(仮称)ぎふ歴史遺産未来継承寄附金」で得た寄附を補助金財源にあてる仕組みとするなど、持続可能な日本遺産活用の枠組みを検討する。		

(7)－4 整備			
(事業番号 4－A)			
事業名		「信長公のおもてなし」空間整備	
概要		来訪者がストーリーを体験する上で必要な基盤整備、交通アクセス整備等を行う。	
	取組名	取組内容	実施主体
①	岐阜公園再整備	官民連携しながら公園機能の充実を図る。 公園の一部は、Park-PFI により名古屋鉄道株式会社を代表法人とした民間事業者が、「「岐阜」を嗜（たしな）み、OMOTENASHI を堪能する」をコンセプトに、飲食物販施設等の整備を実施。	岐阜市
②	長良川護岸整備	「ぎふ長良川鵜飼かわまちづくり計画」に基づき、長良川の安全と河川環境・景観向上、水辺拠点の創出のための整備を実施する。	国土交通省・岐阜市
③	シェアサイクル整備	どのサイクルポートでも返却可能なシェアサイクルのポートを順次拡大し、より構成文化財を周遊しやすい環境整備を行う。	岐阜市
④	自動運転バスの継続運行	持続可能な交通ネットワークの構築を目指し、2023 年度から 2027 年度まで自動運転バスの継続運行を実施。土日祝日は、岐阜駅から日本遺産エリアである川原町や岐阜公園を周遊する。	岐阜市
⑤	外国人観光客の受入環境整備支援	民間事業者が実施する多言語化対応、無料公衆無線 LAN 設置、トイレ整備、電子決済対応等の整備に対して補助を行う。	岐阜市
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2021	再訪意向率		－
2022			79.3%
2023			76.1%
2024	岐阜市観光のおすすめ度（NPS）		10 pt
2025			12 pt
2026			12 pt
2027			12 pt
2028			18 pt
2029			20 pt
事業費	2024 年度：558,200 千円 2025 年度：430,000 千円 2026 年度：308,000 千円		
継続に向けた事業設計	「岐阜公園再整備基本計画」「史跡岐阜城跡整備基本計画」「岐阜市総合交通計画」等に基づき、計画的に推進する。 マーケティング調査の項目に NPS の項目を追加して数値を把握する。		
事業費	2027 年度：164,000 千円 2028 年度：50,000 千円 2029 年度：50,000 千円		
継続に向けた事業設計	民間活力を活かした飲食物販施設整備により、賑わいある城下町空間を創出する。		

(事業番号 4-B)

事業名		日本遺産情報発信施設等整備	
概要		日本遺産「信長公のおもてなし」の情報発信拠点となるガイダンス施設を中心とした施設整備及び現地案内の充実を図る。	
	取組名	取組内容	実施主体
①	ビジターセンター整備	岐阜公園内において、岐阜城の歴史と日本遺産「信長公のおもてなし」を紹介するビジターセンターを整備する。	岐阜市
②	岐阜城天守閣耐震化・展示リニューアル	施設の耐震補強、濃尾平野を一望する信長公自慢の風景を楽しむ機能向上、日本遺産の紹介のための再整備を行う。	岐阜市
③	岐阜市歴史博物館総合展示室リニューアル	戦国城下町を中心に市の史跡・歴史等を紹介し、日本遺産のまち歩きの拠点となる施設として、リニューアルを行う。	岐阜市
④	日本遺産エリアの現地案内看板等の充実	日本遺産エリアの多言語による説明・誘導看板の再整備等によって、まち歩き情報の提供と来訪者の利便性向上を図る。	ぎふ歴史遺産活用推進協議会 他
⑤	日本遺産情報媒体の充実	「メタバース岐阜城」を活用したスマートフォン等による現地案内ツールの作成を行う。また観光誘客冊子やマップの更新、日本遺産カードの作成等により媒体の充実を図る。	岐阜市、ぎふ歴史遺産活用推進協議会
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2021	再訪意向率		—
2022			79.3%
2023			76.1%
2024	岐阜市観光のおすすめ度（NPS）		10 pt
2025			12 pt
2026			12 pt
2027			12 pt
2028			18 pt
2029			20 pt
事業費	2024 年度：26,000 千円 2025 年度：592,000 千円 2026 年度：1,065,000 千円		
継続に向けた事業設計	ビジターセンター設置にあたり、岐阜市観光案内所、岐阜市歴史博物館、岐阜城天守閣及び岐阜城資料館、長良川うかいミュージアムが連携・役割分担を明確にして日本遺産の情報発信を行っていく体制を構築する。		
事業費	2027 年度：1,065,000 千円 2028 年度：5,000 千円 2029 年度：5,000 千円		
継続に向けた事業設計	入館料収入、商品販売の他、説明板や情報冊子に対して広告を募るなど、新たな維持管理の資金を獲得する方法についても検討を行う。		

(事業番号 4 - C)

事業名		日本遺産構成文化財調査・整備	
概要		構成文化財の調査・研究・整備を推進することで、価値の顕在化やストーリーの深掘り、文化財の継承を図る。	
	取組名	取組内容	実施主体
①	史跡岐阜城跡の調査・整備	信長公のおもてなしの場となった山麓居館庭園跡について、ビジターセンターと一体で史跡整備を行う。また、山上部の発掘調査や城郭景観復元のための樹木伐採を順次実施する。	岐阜市
②	鶺鴒文化の継承	長良川の鶺鴒文化の価値や魅力を高め、守り、継承していくため、調査や技術継承支援、市民団体との連携、鶺鴒造船・舟大工育成事業を実施する。	岐阜市、 岐阜長良川鶺鴒保存会
③	岐阜まつりの調査	日本遺産の構成文化財である岐阜まつりについて総合調査を実施し、全国的な観点からの価値づけを行う。	岐阜市
④	文化的景観の調査・整備	日本遺産の構成文化財で、文化的景観の重要な構成要素である岐阜大仏の普及啓発の取り組みを行うと共に、整備方法の検討を行う。	岐阜市
⑤	伝統文化の継承	岐阜提灯、岐阜和傘、遊宴文化等、地域の伝統文化継承の取り組みを実施する。	岐阜市 NPO 法人 ORGAN 他
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2021	史跡に対する満足度		—
2022			88.7%
2023			84.6%
2024			85%
2025			85%
2026			85%
2027			85%
2028			85%
2029			85%
事業費		2024 年度：65,000 千円 2025 年度：65,000 千円 2026 年度：65,000 千円	
継続に向けた事業設計		事業の公開・普及啓発事業を通じて、日本遺産及びその構成文化財に対して応援してもらえる市民や来訪者の増加を目指す。調査の継続によって、「信長公のおもてなし」の新たな知見を加えていく。	
事業費		2027 年度：65,000 千円 2028 年度：65,000 千円 2029 年度：65,000 千円	
継続に向けた事業設計		国・県・市の補助制度を活用して伝統工芸品の振興を図るとともに、ふるさと納税寄附金で得た寄附を文化財の保存継承の財源として活用する。	

(7)－5 観光事業化			
(事業番号 5－A)			
事業名		日本遺産関連商品の販売とブラッシュアップ	
概要		日本遺産のストーリーを体験できる商品の販売とブラッシュアップを行う。	
	取組名	取組内容	実施主体
①	日本遺産体感ツアーの販売	高級船御座船遊び、岐阜城ガイドツアー等、日本遺産を体感できるツアーをブラッシュアップ、新規造成しながら、継続して販売する。	NPO 法人 ORGAN
②	公共交通機関と連携した観光商品の販売	戦国城下町・岐阜をめぐるお得なセット（電車・バス・施設券、おもてなし券（店舗での和菓子引換）など）を公共交通機関と共に企画販売を行う。	岐阜観光コンベンション協会
③	メディア・旅行者と連携した商品造成	メディア・旅行者を招請した研修、インフルエンサーの招請により、観光コンテンツ醸成を行う。ドライブツーリズム商品造成等を行う。	岐阜観光コンベンション協会 他
④	日本遺産関連土産品の開発、販売	「信長公のおもてなし」統一パッケージによる土産品について、ブラッシュアップを行いながら販売を継続する。	岐阜市土産品協会
⑤	ガイド人材の育成	日本遺産を案内する歴史観光ガイドの資質向上を目的に研修を実施する。	ぎふ歴史遺産活用推進協議会
⑥	城下町の古民家再生事業	旧城下町の古民家空き家等をリフォームし、テナント誘致を行うことで、日本遺産エリアの活性化、回遊性を高める。	岐阜まち家守
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2021	再訪意向率		－
2022			79.3%
2023			76.1%
2024	日本遺産関連ツアー購入者のおすすめ度（NPS）		10 pt
2025			12 pt
2026			12 pt
2027			12 pt
2028			18 pt
2029			20 pt
事業費	2024 年度：2,500 千円 2025 年度：2,500 千円 2026 年度：2,500 千円		
継続に向けた事業設計	体感ツアーや土産品販売等は当該事業の収益により事業を実施し、広報宣伝については協議会が PR するなど支援していく。		
事業費	2027 年度：2,500 千円 2028 年度：2,500 千円 2029 年度：2,500 千円		
継続に向けた事業設計	民間企業を支援する補助金等、日本遺産関連商品の開発・造成を支援する体制を検討する。		

(事業番号 5-B)

事業名		ナイトタイムエコノミーの推進	
概要		来訪者に日本遺産の夜の魅力を体験していただき、宿泊観光につなげるための事業を推進する。	
	取組名	取組内容	実施主体
①	インバウンドに対応した長良川鵜飼観覧船事業の推進	英語にも対応した鵜飼観覧船のオンライン予約・決済システムを導入・運用し、利便性向上、効率化を図る。また椅子席の高級観覧船を運航する他、通常の観覧船についても椅子席の船を造船し、靴のまま乗船できる船を順次増やしていく。	岐阜市
②	構成文化財を活用したイベントの開催	魅力的なナイトタイムエコノミー創出を目的に、和傘や提灯等の伝統工芸品を活かした「ぎふ灯り物語」や「駅とまちを光でつなぐ杜のイルミネーション」等のライトアップイベント、長良川薪能、岐阜文化再発見民話ライブ等を開催する。	GIFU ナイトビュー実行委員会・岐阜駅周辺活性化実行委員会 他
③	岐阜城から見た夜景の魅力発信	天守閣やぎふ金華山ロープウエーの夜間営業による「岐阜城パノラマ夜景」等の開催により、岐阜城からみた夜景の魅力を発信する。	GIFU ナイトビュー実行委員会
④	長良川周辺における夜のにぎわいの創出	長良川右岸にて、「長良川夜市」を定期的を開催するなど、往時の賑わいを彷彿とさせる取り組みを推進する。	鵜飼屋開発興業合同会社 他
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2021	再訪意向率		—
2022			79.3%
2023			76.1%
2024	岐阜市観光のおすすめ度（NPS）		10 pt
2025			12 pt
2026			12 pt
2027			12 pt
2028			18 pt
2029			20 pt
事業費		2024 年度：30,000 千円 2025 年度：30,000 千円 2026 年度：30,000 千円	
継続に向けた事業設計		ナイトタイムエコノミー事業の財源に地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）を活用するなど、継続実施に向けた財源確保を図る。	
事業費		2027 年度：30,000 千円 2028 年度：30,000 千円 2029 年度：30,000 千円	
継続に向けた事業設計		岐阜市の日本遺産の夜の魅力を一体的にアピールできるよう、ナイトタイムエコノミーに関する事業が連携して PR を行う。	

(7) - 6 普及啓発			
(事業番号 6 - A)			
事業名	学校教育と連携した普及啓発		
概要	学校教育と連携した普及啓発に取り組み、日本遺産の理解度向上を図る。		
	取組名	取組内容	実施主体
①	「ぎふ MIRAI' s (みらい)」推進事業における日本遺産学習の推進	2023 年度から始まった、市立の小・中学校、特別支援学校の児童・生徒が岐阜市について学ぶ「ぎふ MIRAI' s (みらい)」推進事業に、日本遺産を位置付けて実施。オンラインでつないだ一斉授業等を行う。	岐阜市
②	日本遺産を体験する機会の創出	小中学生の鵜飼観覧体験事業に対して補助を行う「ふるさと大好き鵜飼事業」や「ぎふ信長まつり」に合わせたお祝い献立の給食を提供するなど、日本遺産に触れる体験を増やしていく。	岐阜市
③	中高生ガイドの育成	歴史博物館の企画展で活動している展示解説活動ボランティア (SMC) の活動枠を広げ、研修を実施。子どもが日本遺産の説明者側に回ること、当事者意識の醸成を推進する。	岐阜市
④	タブレットへの日本遺産コンテンツ配信	小中学生全員に配布されているタブレットを通じて、岐阜城 VR 案内ツール等の日本遺産コンテンツを配信することで、日本遺産の学びのツールを提供する。また、ツールを用いた授業やフィールドワーク、町探検を推進する。	岐阜市・ぎふ歴史遺産活用推進協議会
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2021	日本遺産の認知度		75.0%
2022			57.7%
2023			74.3%
2024	日本遺産ストーリーの理解度		85%
2025			85%
2026			85%
2027			85%
2028			85%
2029			85%
事業費	2024 年度 : 6,000 千円 2025 年度 : 6,000 千円 2026 年度 : 6,000 千円		
継続に向けた事業設計	学校教育への位置付け・連携を強化して、日本遺産の浸透を図る。		
事業費	2027 年度 : 6,000 千円 2028 年度 : 6,000 千円 2029 年度 : 6,000 千円		
継続に向けた事業設計	中高生ガイドの育成などによる当事者意識の造成や、次世代のプレイヤー育成、親子で体験、学ぶことができる取り組み等を行っていく。		

(事業番号 6-B)

事業名		生涯学習、市民団体と連携した日本遺産の普及活用	
概要		市民団体と共に日本遺産の普及啓発に取り組み、地域全体の日本遺産の理解度向上を図る。	
	取組名	取組内容	実施主体
①	生涯学習における日本遺産の学習機会の提供	生涯学習講座「長良川大学」等で「日本遺産「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜」や構成文化財に関する出前講座を開催。また歴史講座やシンポジウム等により、日本遺産・信長公のまち岐阜市の認知度向上を図る。	岐阜市
②	市民団体と連携した日本遺産の普及と活用	日本遺産信長公のおもてなし実行委員会による、「信長公のおもてなし茶会」をはじめとした民間主体イベントの開催支援を行う。	岐阜市・ぎふ歴史遺産活用推進協議会
③	市民によるおもてなし活動の推進支援	日本遺産信長公のおもてなし実行委員会による花壇整備や、岐阜信長公おもてなし武将隊「響縁」が岐阜公園において行う、来訪者のお出迎えや記念撮影、弓矢体験活動の支援を行う。	ぎふ歴史遺産活用推進協議会
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2021	日本遺産の認知度		75.0%
2022			57.7%
2023			74.3%
2024	日本遺産ストーリーの理解度		85%
2025			85%
2026			85%
2027			85%
2028			85%
2029			85%
事業費		2024 年度：1,500 千円 2025 年度：1,500 千円 2026 年度：1,500 千円	
継続に向けた事業設計		市民団体の自主的な活動や補助金等による支援を通じて、日本遺産の浸透を図る。	
事業費		2027 年度：1,500 千円 2028 年度：1,500 千円 2029 年度：1,500 千円	
継続に向けた事業設計		市民が行う事業の企画段階で協議会がアドバイスをを行う、または共催事業とするなど、さらに取り組みが発展するような連携体制を構築する。	

(7) - 7 情報編集・発信				
(事業番号 7 - A)				
事業名		地域 DMO を中心とした情報発信		
概要		ターゲット層にアプローチできる効果的な HP、SNS 等の情報発信を推進する。		
	取組名	取組内容	実施主体	
①	ターゲットを意識した日本遺産の情報発信	HP や SNS、web 広告等による、観光情報や体験商品の発信を行う。岐阜観光コンベンション協会の SNS を地域の関係者の情報発信の窓口として活用していく。	岐阜観光コンベンション協会、NPO 法人 ORGAN 他	
②	「メタバース岐阜城」による日本遺産 PR	過去に作成した CG データを基に岐阜城山上部・山麓部のメタバースデータを作成、オンラインゲーム「Fortnite」上で公開することで、世界への情報発信と認知度向上を図る。	ぎふ歴史遺産活用推進協議会	
③	日本遺産の魅力を紹介するフォトツーリズムの推進	「月と岐阜城」など写真家が撮影した魅力あるスポットの紹介や、写真貸出システムその他、「岐阜市観光フォトコンテスト」やその SNS 版により、旅アト情報を発信する。	岐阜市	
④	ロケツーリズムの推進による日本遺産の発信	ドラマ、映画等の誘致や情報番組・旅番組等との連携により、日本遺産のまちの魅力発信を行う。岐阜市観光コンベンション課ロケツーリズム推進室によるロケ支援により実施。	岐阜市	
年度	事業評価指標		実績値・目標値	
2021	岐阜観光コンベンション協会及び岐阜市魅力部関係の SNS フォロワー数		—	
2022			—	
2023			3,631 件	
2024			4,000 件	
2025			4,500 件	
2026			5,000 件	
2027			6,000 件	
2028			7,000 件	
2029			8,000 件	
事業費		2024 年度：30,000 千円 2025 年度：4,000 千円 2026 年度：4,000 千円		
継続に向けた事業設計		未来の岐阜ツーリズム会議での意見も参考に、ターゲットを意識した情報発信を行っていく。移住・定住情報発信拠点における PR も合わせて実施する。		
事業費		2027 年度：5,000 千円 2028 年度：6,000 千円 2029 年度：7,000 千円		
継続に向けた事業設計		地域 DMO による一体的なプロモーション及び NPO 法人 ORGAN 等民間事業者による商品販売に直結する情報発信を連携して行うことで、持続的かつ、より効果的な情報発信を行っていく。		

(事業番号 7-B)

事業名		インバウンド誘客の推進	
概要		海外に向けたプロモーションを強化し、外国人観光客の増加を図る。	
	取組名	取組内容	実施主体
①	インバウンド関連の商談会、展示会での発信	民間団体と連携して、インバウンド旅行振興フォーラムやビジネスマッチング商談会等のインバウンド関連商談会・展示会へ参加し、営業活動を行う。	ビジット G I F U 協議会
②	海外 WEB サイトでの情報発信	JNTO「タイ旅行会社向け訪日情報発信サイト」やチェジュ航空ホームページなど、海外 WEB サイトに岐阜市の観光情報を掲載することで、PR を行う。	ビジット G I F U 協議会
③	中国自治体との観光交流協定に基づいた誘客宣伝	海外自治体（中国・西安市、江蘇省）との観光交流協定等に基づき、F I T（個人旅行）向けのマーケットシェアが高い海外の旅行会社と連携した誘客促進事業を実施する。	岐阜・下呂・郡上観光宣伝協議会
④	台湾をターゲットとした誘客宣伝	台湾に影響のあるインフルエンサー招請や、レンタカーを使ったドライブツーリズム商品造成・販売を通じて、岐阜市、下呂市、郡上市の各市を周遊させるための誘客宣伝を実施する。	岐阜・下呂・郡上観光宣伝協議会
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2021	岐阜市の外国人宿泊者数		1,945 人
2022			19,965 人
2023			62,389 人
2024			55,000 人
2025			55,000 人
2026			60,000 人
2027			60,000 人
2028			70,000 人
2029			80,000 人
事業費	2024 年度：5,800 千円 2025 年度：5,800 千円 2026 年度：5,800 千円		
継続に向けた事業設計	外国人観光客の動向調査により入込数・目的・消費額等を把握し、今後のインバウンド施策を検討する。		
事業費	2027 年度：5,800 千円 2028 年度：5,800 千円 2029 年度：5,800 千円		
継続に向けた事業設計	動向調査を踏まえて、欧米も含めたターゲットに対する取り組みを検討、実施していく。		